

衛生管理マニュアル 記載例

4 使用水の衛生管理

4(1)(2) 濁り等、残留塩素及び滅菌装置の確認並びに水質検査

使用水の衛生管理について、東京 太郎 が責任者となり以下の内容を履行する。

責任者の氏名を記入します。
(役職名でも可)

衛生管理の目的

<記載例>

水による病原微生物汚染の防止。

水道水をいったん貯水槽に溜めてから使用する場合や井戸水など水道水以外の水を使用する場合は、日々の点検だけでなく、年 1 回以上水質検査を実施することが必要です。また、水道水を使用する場合でも、供給されている水の状況を自分で確認することが大切です。

使用水

<記載例>

水道水 水道水（小規模給水施設） その他の水

味、臭い、色、濁りの確認方法

<記載例>

- 作業開始前に、味、臭い、色、濁りについて異常の有無を確認し、記録する。
- 不適時の対応についても記録する。
- 記録は 1 年間保存する。

使用水の点検表【例示】

	採取場所	採取時期	味	臭い	色	濁り	異物	残留塩素濃度
1 日	下処理室							mg/l
	調理場内							mg/l
2 日	下処理室							mg/l
	調理場内							mg/l

使用水の点検項目及びその頻度を具体的に記載します。日常行う点検は誰でもすぐに実施できる簡単な点検でもかまいません。また、水道水以外を使用している場合は、水質検査の実施項目と頻度などを記載します。

記載が必要な項目 、頻度等が定められている箇所

